

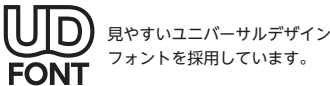
株主メモ

事業年度	4月1日から翌年の3月31日まで	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
定時株主総会	6月	同 連 絡 先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711（通話料無料） （郵送先）〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行 証券代行部
基準日	定時株主総会… 3月31日 期末配当……… 3月31日 中間配当……… 9月30日	特 別 口 座 の 口 座 管 理 機 関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
公告方法	電子公告 ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 [公告掲載ウェブサイトアドレス] https://www.seiko-co.com/	同 連 絡 先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031（通話料無料）
単元株式数	100株		

- **住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申し出先について**
株主さまの口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行にお申し出ください。
- **未払配当金の支払いについて**
株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行にお申し出ください。
- **「配当金計算書」について**
配当金支払いの際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。

●ホームページのご案内●

最新のIR情報につきましては、
当社のホームページ「IR情報」を
ご参照ください。
<https://www.seiko-co.com/>



証券コード：6286

第123期
株主通信

2024年4月1日 ▶ 2025年3月31日

あなたのそばに 静甲グループ

毎日の暮らしからものづくりの現場まで、あなたとつながる静甲です



INDEX

静甲グループの事業領域	02
ごあいさつ	03
財務ハイライト	04
事業別の概況	05

連結財務諸表	07
トピックス	09
会社概要／株式の状況	10

静甲グループの事業領域

Business Area

産業機械事業

包装機械等の
製造販売、
及び保守
メンテナンス



電機機器事業

冷凍機器・太陽光発電機器の販売
FA機器・空調機器・冷凍
機器等電機機器の販売及び
空調設備等設置工事



不動産等賃貸事業

駐車場経営及び貸自動車事業等

冷間鍛造事業

冷間鍛造製品の製造販売



車両関係事業

車両及びその関連商品の販売修理



グループ会社

- 日本機械商事株式会社（連結子会社）
包装機械の販売及び保守メンテナンス
- 株式会社エコノス・ジャパン（連結子会社）
殺菌装置、食品加工機械等の製造販売
- 株式会社共和テック（連結子会社）
産業機械の製造販売及び保守メンテナンス
- 静岡スバル自動車株式会社（連結子会社）
スバル車の販売修理
- 静岡ブイオート株式会社（連結子会社）
ボルボ車の販売修理

- 株式会社PUREST（連結子会社）
ボルシェ車の販売修理
- 株式会社Cool the Earth（連結子会社）
BYD車の販売修理
- 静岡自動車株式会社（連結子会社）
駐車場経営及び貸自動車事業
- 株式会社ビルメンテ
- エススタッフサービス株式会社

株主の皆さまには平素より格別のご高配を賜りありがたく厚くお礼申しあげます。
さて、当社第123期（2024年4月1日から2025年3月31日まで）の株主通信をお届けするにあたり、ごあいさつ申しあげます。

当期の業績について

当連結会計年度におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善や訪日観光の回復を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、エネルギー・原材料価格の高止まりや人件費の上昇により企業のコスト負担が増加し、個人消費の持ち直しにも力強さを欠くなど、先行きには依然として不透明感が残る状況です。

当社の主要取引先である製造業各分野においても、環境変化への対応が進められました。自動車分野では、半導体供給制約の緩和により生産回復が進んだものの、EV対応や供給体制の再構築に加え、為替や海外市場の需給変動といった外部要因も影響し、不確実性を伴う事業環境となりました。食品・化粧品分野では、インバウンド需要の回復や新製品投入により生産活動は持ち直したものの、原材料や物流コストの上昇が続く中、製造ラインの更新や自動化・衛生対応を伴う設備投資には慎重な判断も見られました。また、FA・FA機器分野では、省力化・自動化ニーズの高まりに伴い製造現場への投資は継続されたものの、海外情勢や急速な為替変動の影響もあり、一部では設備投資判断に慎重姿勢も見られました。建設業界では、空調や省エネ改修需要は底堅く推移する一方で、資材コストの上昇や技能者不足が依然として制約要因となりました。

海外では、米国の通商政策動向や中国の不動産不振、欧州のエネルギー・インフレ問題などを背景に、主要国経済は総じて先行き不透明感が強く、日本企業においても中長期的なサプライチェーンや投資計画に影響を及ぼす状況が続きました。

当連結会計年度の当社グループの売上高は、電機機器事業では製造業向けの自動化ラインや空調・設備機器の大型工事を中心に売上が堅調に推移しました。車両関係事業は輸入車販売を中心に前年同期の実績を上回りました。

冷間鍛造事業は、主要納入先の在庫調整が緩和し、前年同期の実績を上回りました。産業機械事業は前年同期並みの実績となりました。

これらの結果、売上高は、前年同期比11.1%増の400億9千9百万円となりました。

利益面では、産業機械事業の工場の稼働率向上及び冷間鍛造事業の生産効率向上、車両関係事業・電機機器事業の増収により、経常利益は前年同期比57.9%増の15億7千6百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は前年同期比34.1%増の10億4千5百万円となりました。

今後の見通しについて

当社グループの次期の見通しにつきましては、産業機械事業では、大型の液体充填ライン、小型・中型機共に堅調に推移し、当連結会計年度の実績並みとなる見込みであります。

電機機器事業では、冷熱機器、設備機器、空調設備工事が堅調に推移する見込みの中、製造業向けの自動化ラインの売上が前期に集中し、その反動により当連結会計年度の実績を下回る見込みであります。これらの結果、電機機器事業全体では当連結会計年度の実績を下回る見込みであります。

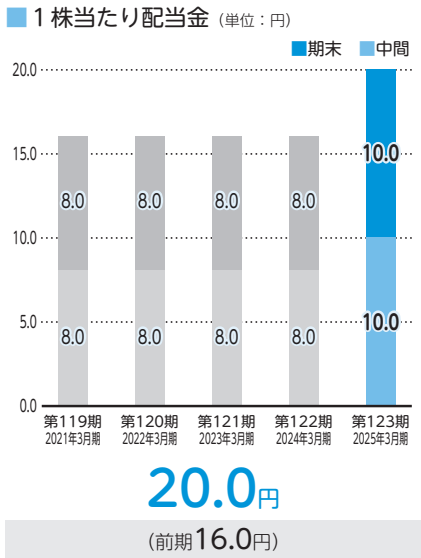
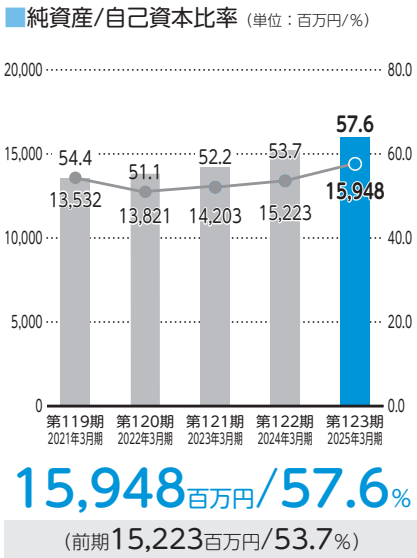
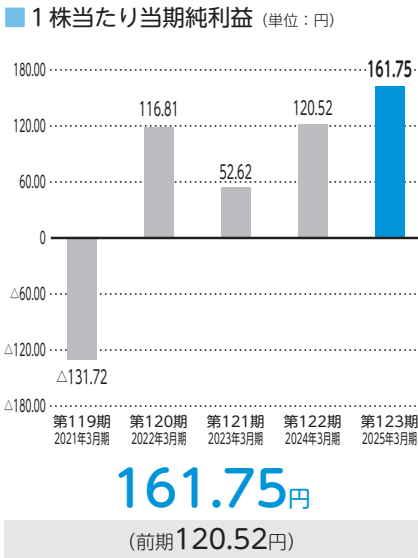
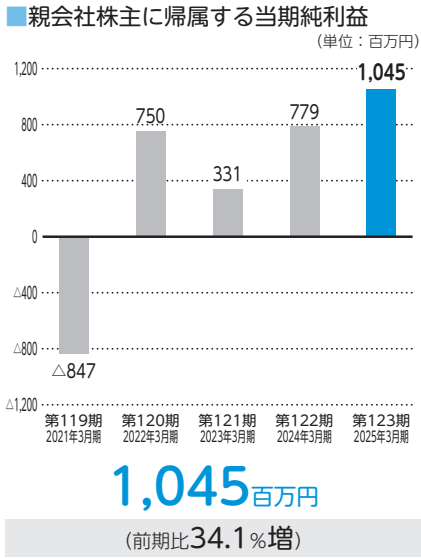
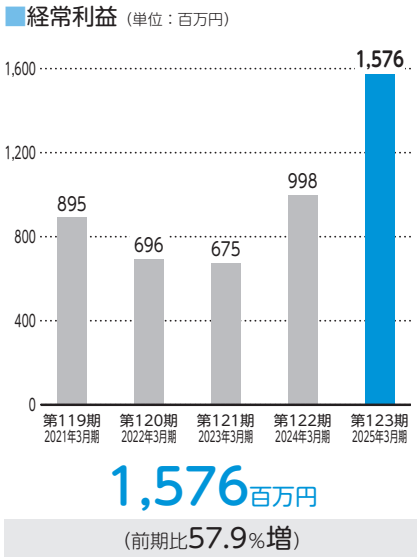
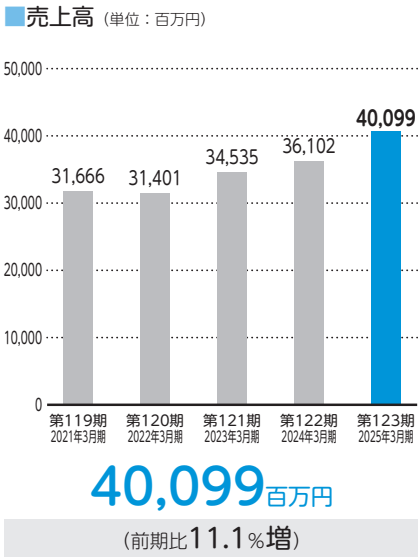
冷間鍛造事業は、当連結会計年度の実績並みとなる見込みであります。

車両関係事業では、取扱各ブランドにおいて電動化対応が進展し、スバルは新型HV投入により堅調に推移、輸入車はEV・PH EVの拡充やブランド戦略の柔軟化により安定成長の見込みであります。これらの結果、車両関係事業全体では当連結会計年度の実績を上回る見込みであります。

以上によりまして、2026年3月期における当社グループの売上高は400億円、営業利益は10億円、経常利益は11億円、親会社株主に帰属する当期純利益は、政策保有株式の売却による売却益を含めて10億円となる見通しであります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

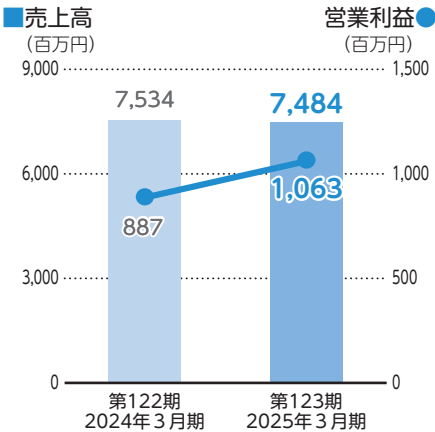
2025年6月
代表取締役社長執行役員 鈴木孝典



産業機械事業

売上高
7,484百万円
(前期比0.7%減)

営業利益
1,063百万円
(前期比19.8%増)



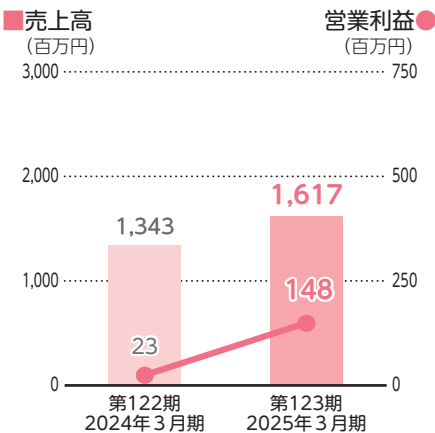
概況

包装機械は、大型液体充填ラインの受注が増加したものの、前期後半から当期前半にかけて、取引先の設備投資判断が慎重姿勢になり、液体充填巻締機等の小型・中型機の受注が伸び悩んだことが影響し、前年同期の実績を下回りました。一方、保守メンテナンスは前年実績を上回りました。

冷間鍛造事業

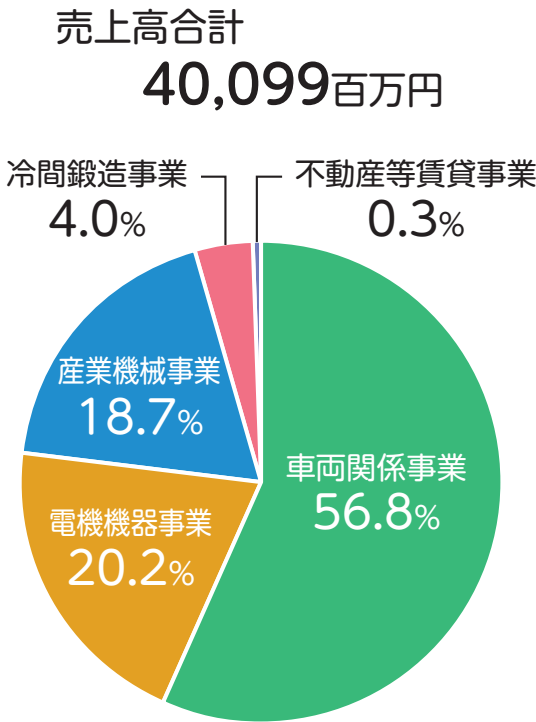
売上高
1,617百万円
(前期比20.4%増)

営業利益
148百万円
(前期比530.0%増)



概況

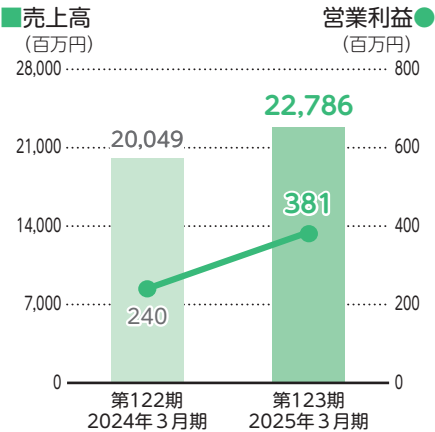
機械工具は、在庫調整の緩和や建設・DIY市場が堅調に推移したことにより前年同期を上回りました。自動車部品、産業機械部品は、前年同期並みの実績となりました。



車両関係事業

売上高
22,786百万円
(前期比13.6%増)

営業利益
381百万円
(前期比59.1%増)



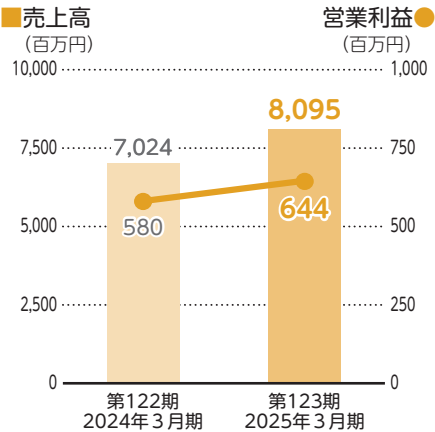
概況

スバル新車販売は、期初に発生したメーカーの出荷遅延の影響により、納車・販売の出遅れを回復しきれず前年同期の実績を下回りました。中古車販売及びサービス売上は前年同期の実績を上回りました。輸入車販売は、新車販売及び中古車販売が堅調に推移し、前年同期の実績を上回りました。サービス売上は、輸入車の商圏拡大により前年同期の実績を上回りました。

電機機器事業

売上高
8,095百万円
(前期比15.2%増)

営業利益
644百万円
(前期比11.0%増)



概況

主力のF A関連は、設備投資需要の回復及び昨年より注力している製造業向けの自動化ラインの受注・売上が進捗したことから前年同期を上回りました。また、空調・設備機器の省エネやB C P対応の大型更新工事、冷熱機器の販売も堅調に推移しました。空調機器周辺部材は、前年実績並みとなりました。

不動産等賃貸事業

売上高
115百万円 (前期比22.8%減)

営業利益
225百万円 (前期比325.7%増)

連結貸借対照表

	当 期 2025年3月31日現在	前 期 2024年3月31日現在
資産の部		
流動資産	15,544,587	17,041,286
現金及び預金	7,095,998	8,481,451
受取手形、売掛金及び契約資産	3,773,157	4,127,908
電子記録債権	707,537	1,095,230
たな卸資産	3,383,316	2,742,027
その他	612,442	627,695
貸倒引当金	△ 27,866	△ 33,029
固定資産	12,135,787	11,322,280
有形固定資産	8,890,670	7,767,762
建物及び構築物	3,557,887	3,221,324
土地	3,189,877	3,060,680
その他	2,142,903	1,485,758
無形固定資産	141,972	208,053
投資その他の資産	3,103,145	3,346,464
投資有価証券	2,736,492	3,034,517
その他	371,383	316,647
貸倒引当金	△ 4,732	△ 4,700
資産合計	27,680,375	28,363,566

	(単位：千円)	
	当 期 2025年3月31日現在	前 期 2024年3月31日現在
負債の部		
流動負債	10,204,132	11,022,985
支払手形及び買掛金	3,639,699	3,132,977
その他	6,564,433	7,890,008
固定負債	1,527,290	2,117,554
負債合計	11,731,422	13,140,539
純資産の部		
株主資本	15,027,907	14,098,830
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,159,341	3,159,341
利益剰余金	11,774,354	10,845,277
自己株式	△ 5,788	△ 5,788
その他の包括利益累計額	921,045	1,124,196
その他有価証券評価差額金	921,045	1,124,196
純資産合計	15,948,952	15,223,026
負債及び純資産合計	27,680,375	28,363,566

連結損益計算書

	(単位：千円)	
	当 期 2024年4月 1日～ 2025年3月31日	前 期 2023年4月 1日～ 2024年3月31日
売上高	40,099,518	36,102,826
売上原価	31,288,207	28,378,641
販売費及び一般管理費	7,382,176	6,841,413
営業利益	1,429,134	882,772
営業外収益	180,930	144,652
営業外費用	33,605	29,009
経常利益	1,576,459	998,414
特別利益	61,821	132,258
特別損失	47,254	118,665
税金等調整前当期純利益	1,591,027	1,012,007
法人税、住民税及び事業税	571,375	364,845
法人税等調整額	△25,792	△ 132,689
当期純利益	1,045,444	779,851
親会社株主に帰属する当期純利益	1,045,444	779,851

連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	当 期 2024年4月 1日～ 2025年3月31日	前 期 2023年4月 1日～ 2024年3月31日
営業活動による キャッシュ・フロー	3,116,344	1,676,927
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 2,426,741	△ 1,204,570
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 2,235,057	△ 253,792
現金及び現金同等物の 増減額（△は減少）	△ 1,545,453	218,564
現金及び現金同等物の 期首残高	8,481,451	8,257,068
非連結子会社との合併に伴う 現金及び現金同等物の増加額	—	5,819
現金及び現金同等物の 期末残高	6,935,998	8,481,451

●ホームページのご案内●

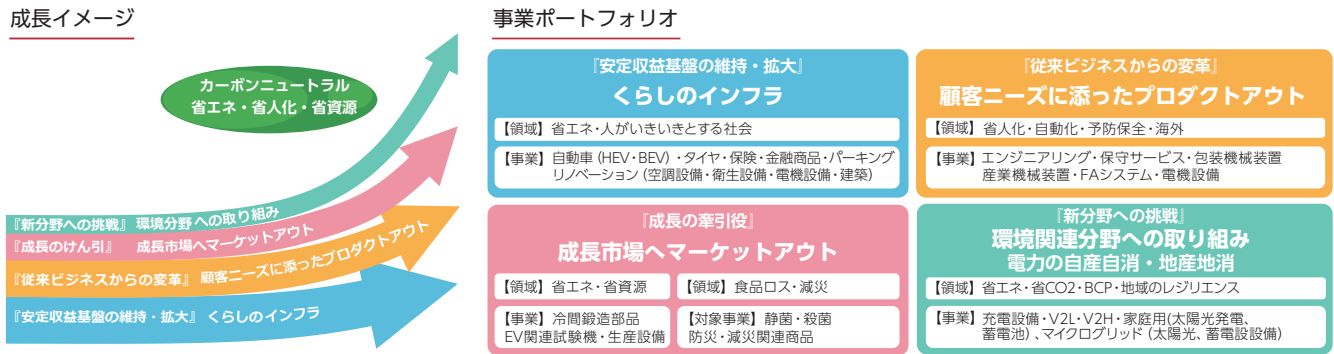
最新のIR情報につきましては、当社のホームページ「IR情報」をご参照ください。

<https://www.seiko-co.com/>



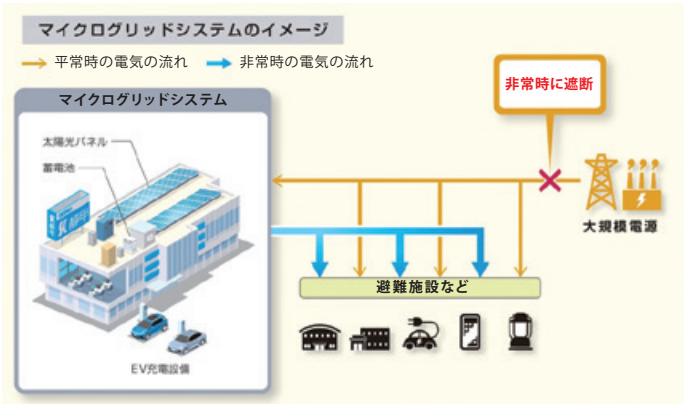
創業100周年に向けた、未来志向の経営計画を始動

当社グループは、2025年3月期に創業85周年を迎えるにあたり、次の100年を見据えた「中期経営計画（2025～2029年度）」を策定いたしました。この計画では、「持続的成長（サステナビリティ経営）」を核とし、変化の激しい社会環境に柔軟かつ力強く対応していくことを目指しています。日本社会では、少子高齢化による労働力不足、そして気候変動・環境問題がますます深刻化しています。こうした課題に真正面から取り組むために、当社は4つの重点テーマ、『省エネ（エネルギー効率の最適化）』『省人化（労働力不足へのテクノロジー対応）』『省資源（限りある資源の有効活用）』『カーボンニュートラル（脱炭素社会の実現）』にもとづき、事業活動の変革と成長を推進します。



地域貢献型マイクログリッドシステム始動！

カーボンニュートラルの実現と地域社会への貢献を目指し、当社本社屋上に太陽光発電設備（マイクログリッドシステム）を設置いたしました。本設備をモデルケースとして、地域社会及び企業との連携を強化し、持続可能なエネルギーソリューションの提案と普及をめざします。



会社概要 (2025年3月31日現在)

社名	静甲株式会社 (SEIKO CORPORATION)
本社所在地	静岡県静岡市清水区天神二丁目8番1号
設立	1939年（昭和14年）5月18日
資本金	1億円
従業員数	420名（個別）887名（連結）

役員 (2025年6月25日現在)

代表取締役 社長執行役員	鈴木 孝典
取締役 常務執行役員	吉川 範幸
取締役 執行役員	一圓 昌幸
取締役 執行役員	山下 一弘
取締役 執行役員	湯子 直樹
社外取締役	杉本 基
社外取締役	関本 和彦
常勤監査役	櫻井 嘉夫
常勤監査役	齋藤 敏典
社外監査役	山口 貴史
社外監査役	音成 秀樹
社外監査役	野々山 茂

株式の状況 (2025年3月31日現在)

発行可能株式総数	19,200,000株
発行済株式総数	6,459,159株 （自己株式24,164株を除く）
株主数	1,175名

大株主（上位10名） (2025年3月31日現在)

株主名	持株数 （株）	持株比率 （％）
鈴与ホールディングス株式会社	1,832,260	28.37
鈴木 恵子	827,370	12.81
有限会社ティ・エム・ケイ	617,600	9.56
静甲従業員持株会	475,959	7.37
株式会社静岡銀行	311,500	4.82
株式会社清水銀行	309,290	4.79
清水食品株式会社	204,000	3.16
鈴与自動車運送株式会社	104,000	1.61
清水運送株式会社	80,000	1.24
DBS BANK LTD.	78,800	1.22

（注）持株比率は自己株式（24,164株）を控除して計算しております。